第4期奈良県がん対策推進計画ロジックモデル　概要

資料６

分野別アウトプット

- 1　がん予防
- 2　がんの早期発見
- 3　がん医療の充実
- 4　がんと診断された時からの緩和ケア
- 5　地域連携
- 6　相談支援及び情報提供
- 7　がん患者等の社会的な問題への対策
- 8　がん登録
- 9　がん教育 知識の普及啓発

中間アウトカム

- 禁煙希望者が禁煙できている
- 県民が望まない受動喫煙にあわない
- 県民が生活習慣病予防のための行動がとれる
- 県民が感染症予防のための行動がとれる
- がん検診を受けやすい体制が整備されている
- 県民が精度の高いがん検診を受けられる
- がん患者が各療法について、県内で安全で質の高い医療を受けられる
- がん患者が必要な時にサポートを受けられるチーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている
- がん患者やその家族がん医療について必要な情報提供を受けている
- 質の担保された緩和ケア提供体制（緩和ケア外来、チーム医療）が整備されている
- 県民がん患者の緩和ケアについて正しく理解している
- 拠点病院等とかかりつけ医の連携体制が整備されている
- 在宅緩和ケア提供体制が整備されている
- がん患者やその家族が地域連携や在宅医療について必要な情報提供を受けている
- 質の高い相談支援を受けられる体制が整備されている
- がん患者やその家族が治療や相談について必要な情報提供を受けている
- がん患者が治療と仕事や学業の両立に対し必要な支援を受けられる
- がん患者がライフステージに応じた社会問題に対し必要な支援を受けられる

分野別アウトカム

- がん罹患率が減少している
- がんに関する正しい知識を持っている
- がんが早期の段階で発見されている
- がんが早期の段階で診断されている
- がん患者が安全かつ安心な質の高い医療を受けられる
- がん患者が納得した治療を選択できている
- がん患者の身体的、精神的、社会的苦痛が緩和されている
- がん患者が居住する地域にかかわらず、質の高い医療を受け、望む場所で療養生活を送ることができる
- がん患者の不安や悩みが相談支援により軽減されている
- がん患者の抱える社会的苦痛が軽減されている

最終アウトカム

- 県民ががんにならない、がんで亡くならない
- すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく医療を受け、療養生活を送ることができる
- すべての県民ががんを正しく知り、がんと向き合い、地域共生社会の中で自分らしく生きられる

基盤整備

- がん登録データの精度が向上し、データが有効活用されている
- 地域でがん登録データが活用しやすい体制が整備されている
- がん登録に基づいた適切な情報を得ることができている
- がんに関する知識が向上する